



インターン生中間報告会

2013/07/05

早いもので、私たち18期生のインターン業務も中間地点を超えました。この3か月私たちはいろいろな経験をし、失敗をし、学んできました。そんな3か月の成果を発表する報告会が先日開かれました。

今回のかわらばんは、報告会のフィードバックを各自書きました。

編集：徳川

今回のプレゼンでは、求められていることが述べられなかったことが一番の反省です。具体性がなく、内容が薄すぎたと感じています。インターン生募集について発表をもっと深掘すべきであったとも思います。

また、目的と手段の逆転というのを見つめ直さないといけないなと思いました。プレゼンの形式・姿勢に関しては及第点かなと思います。自分の社会・企業への貢献意識や、人を育成して社会を変えたい、みんなが夢を持てる日本社会にしたいという将来の夢をかなえるため、残りのインターン業務は具体的な目的意識を持って進めていきます。

松田



早いものでこのインターンシップも半分が過ぎました。初めて人の前に立ってプレゼンテーションを行ったので、すごく緊張したのですが無事に終わりホッとしています。

反省点として、早口になりすぎてプレゼンテーションが早く終わってしまったのと、スライドを見ながら話してしまったというのがあります。しかし、プレゼンテーション自体は面白いとか内容がわかりやすいというご意見をいただいたので、嬉しかったです。

中間報告では前半三か月の活動について改めて、振り返ることが出来ました。自分の中で出来たことと出来なかったことがたくさんあります。反省を生かして後半の業務に繋げていきたいです。

西山

私は今回の発表で話に具体性がない、どこを強調しているのか分からない、等のコメントを頂きました。今回のプレゼンは、話に一貫性を持たせることを意識し、予め作った流れに沿って自分のエピソードを書きました。その結果、話が長くなってしまい、時間内に終わらせるためにかなり省略したのが原因だと思います。そして流れを意識しすぎて話全体に強弱を付けられていなかったのだと思います。このように、自分の発表を人に評価してもらうのは私にとって初めてのことで、大変勉強になりました。今後社会に出れば限られた時間の中で自分の意見を分かりやすく伝えなければいけない場面に数多く遭遇すると思います。そのときこの経験を生かし、話に強弱をつけて具体例を盛り込む、などのポイントを意識してよりよい発表ができるように、今後も練習していきたいです。



徳川